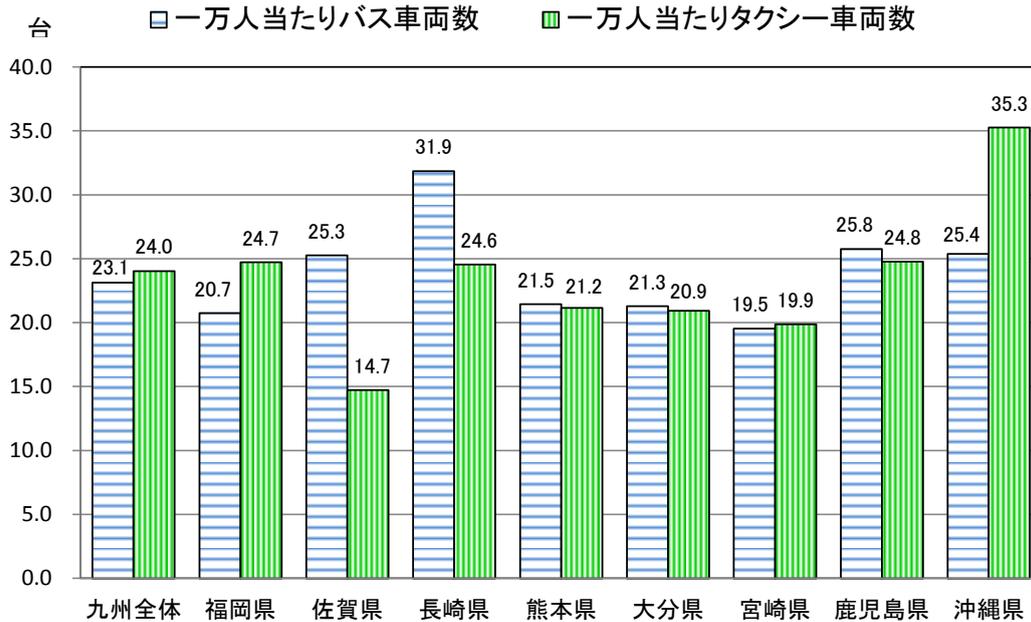


九州各県の一万人当たりバス、タクシーの車両数



解 説

【概要】

熊本県の平成28年度の乗合・貸切バス輸送人員は、31,278千人（乗合バス28,667千人、貸切バス2,611千人）となっており、平成14年度の49,973千人（乗合バス47,229千人、貸切バス2,744千人）に比べて大きく減少している。

一万人当たり車両数を九州各県と比較してみると、バスでは長崎県、鹿児島県、沖縄県、佐賀県が多く宮崎県、福岡県が少ない。タクシーでは沖縄県が突出して多く、佐賀県が少ない。熊本県はどちらも九州全体の数値に対して若干低くなっている。

○一万人当たりバス車両台数

自家用、営業用バス台数÷推計人口×10,000

○一万人当たりタクシー車両数

タクシー車両台数（法人車両数+個人タクシー）÷推計人口×10,000

○指定自動車整備事業者

自動車分解整備事業者であって、優良な設備、技術及び管理組織を有するほか、一定の検査施設及び自動車検査員を有し、地方運輸局長が指定した事業者をいう。

○一指定自動車整備工場当たりの保有車両台数

保有車両台数÷指定自動車整備工場数

資料出所	調査期日	調査周期
*1 「自動車輸送統計調査」 国土交通省	平成28年度	毎月
*2 「交通関連統計資料集」 国土交通省	平成29年3月31日	毎年
*3 （一社）全国ハイヤー・タクシー連合会 資料	平成25年3月31日	毎年
*4 「交通関連統計資料集」 国土交通省	平成25年3月31日	毎年